

報道関係者各位

2006年3月吉日

第66回 虎屋文庫資料展のご案内

旅先の口福
「和菓子で楽しむ道中日記」展

2006年5月17日(水)～6月16日(金) 10:00～17:30

虎屋ギャラリー(虎屋ビル2階) 入場無料／会期中無休

地下鉄赤坂見附駅A出口より徒歩約7分

おいしいものは旅の楽しみ。江戸時代の人々も旅の空の下、名物や菓子を味わっていました。今回の展示では、江戸から明治時代に旅した人々が書いた道中日記から、当時の旅人が食べた菓子を紹介いたします。滝沢馬琴や歌舞伎役者三代目中村仲蔵ほか、旅人達が出会った菓子の数々をお楽しみください。

旅の記憶、道中日記

江戸時代の旅人は、非常に小さな日記帳を持参して、細かな文字で日々の旅程を記し、宿代やわらじ代あるいは昼食や茶代などの費用も記録しました。なかには道中で味わった菓子や旅先の感想をことこまかに書き記したものもあります。

道中日記には旅の記憶が詰まっています。

旅の味わい

江戸から明治にかけて実在した12人の旅人の道中日記から、菓子に関するエピソードを紹介して、彼らが味わった菓子を再現します。

滝沢馬琴おすすめの名物菓子

『南総里見八犬伝』で有名な流行作家滝沢馬琴は、関西を訪れ料理や人々の気質や違いなどを江戸と比較しつつ旅の感想を記しました。そのなかでも京都名物大仏餅を「味ひ甚だ佳なり」と大絶賛しています。

旅する農民、国三郎の菓子紀行

世田谷喜多見の農民國三郎は、28歳の時3ヶ月にわたって各地を旅して菓子を食することなんと154回、なかには「きゅういらず」という不思議な菓子もありました。その正体はギャラリーにて。

公家土御門泰邦の食べ歩き

陰陽師安倍晴明の子孫である土御門泰邦は、天皇のお使いとして江戸へ下ります。生まれて初めての長旅に勇んで名物を食べ続けます。なかでも駿河では安倍川餅を食べ、あまりのおいしさに一気に平らげて、先祖の名前を詠み込んだ和歌まで作りました。

歌舞伎俳優三代目中村仲蔵のグルメ日記

江戸の団子は四つ刺しでした。長い道中五つ刺しの団子ばかりを食べていた中村仲蔵は、江戸に帰ってきた喜びを団子に託して「四つざしの団子尊き桜かな」と俳句を詠んでいます。

昔の旅と菓子を楽しんでみませんか。

展 示 品

菓子類…名物菓子の復元、参勤交代の途中大名が注文した虎屋の菓子ほか 約40点
資料類…江戸時代の往来手形や古文書・錦絵、道中日記、旅人の携行品ほか 約50点

展示解説 毎週月曜日 10:30～と、5月30日(火)・6月9日(金)18:00～。参加自由。

講 演 会 6月10日(土)「旅と食」 石井 正己先生(東京学芸大学教授)

14:00～15:30 於：赤坂区民センター 区民ホール

*往復ハガキに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記住所虎屋文庫までお申し込み下さい。〆切5月31日(水)必着。ハガキ1枚お一人様有効(申し込み多数の場合は抽選)。

*同封の写真は、名物飴の餅を売る茶店を描いた広重の「五十三次 日阪」です。35ミ^{にっさか}カラーポジもごさいます。

お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22 株式会社 虎 屋 虎 屋 文 庫

Tel 03-3408-2402 Fax 03-3408-4561

e-mail bunko@toraya-group.co.jp

<http://www.toraya-group.co.jp/>